

令和6年度 社会福祉法人希望の家 事業計画

I 序

令和6年1月1日に発生した石川県能登地方を震源とする地震災害でお亡くなりになった方々へのご冥福をお祈り申し上げるとともに、被害にあわれた方々へお見舞いを申し上げます。日本知的障害者福祉協会の北陸地区からの報告では、利用者、職員の人的被害は上がっていませんが、施設・事業所等の建物等に甚大な被害を受け、被災された障害関係施設の利用者の避難生活を懸命に支え続けている職員のことが伝えられています。近隣の福祉協会や施設の救援活動も活発になっていますが、地理的に離れている私たちにできることは少なく申し訳なく感じています。せめて義援金での支援で、施設・事業所の皆様をはじめ関係者の方々が一日も早く安心できる生活に戻れるよう願っております。自然災害はいつ起こるかわかりません。希望の家では今年度、災害に向けた事業継続の対策の一つとして、発電機を施設・事業所ごとに設置する予定です。

令和6年2月6日に令和6年度障害福祉サービス等報酬改定の概要が示され、今回は前年度比の+1.12%の改定率で、処遇改善加算の一本化などを合わせると+1.5%を上回る水準とされています。今回の報酬改定の基本的な考え方として、1) 障害者が希望する地域生活を実現する地域づくり、2) 社会の変化等に伴う障害児・障害者のニーズへのきめ細かな対応、3) 持続可能で質の高い障害福祉サービス等の実現のための報酬等の見直しが示されました。主な内容については、㊦処遇改善加算の一本化と加算率の引き上げ、㊧強度行動障害を有する障害者への支援体制の充実、㊨意思決定支援の充実、㊩事業継続に向けた感染症や災害への対応力の強化、㊪障害福祉現場の業務効率化等が上がっています。今回の報酬改定の内容や今後の国の通知等、さらに県及び倉吉市から示される第7期障害福祉計画（R6～R8年度）の動向を注意深く見ていくことが必要です。

今年度の当法人の取り組みとしては、第2期中期計画（R4～R6年度）に掲げている新規GH建設、感染症や災害への対応力の強化、人材の確保・育成、第三者評価の受審等に取り組み、サービスの質の向上と提供体制の安定・充実を図ります。そしてご家族の皆様や地域の方々のご支援・ご協力を受けながら、基本的な感染対策のもと、コロナ前の生活にできるだけ近づけ、利用者の皆様がより充実感、満足感のある暮らしが実現できるように取り組んで参ります。

II 基本方針（理念）

- 1 「人権尊重と社会参加」：ご利用者ひとりひとりを尊重し、社会参加の希望が持てるよう支援します。
- 2 「福祉サービスの充実」：障がいのある方が、心豊かに、安心・安全に生活できる環境と支援体制づくりを進めながら、福祉サービスの充実を図ります。
- 3 「地域との共生」：地域の人々に愛され信頼される施設づくりと、みんなが住み良い地域社会を築いていくことを目指します。

III 重点目標

- 1 利用定員の充足
 - ・地域のニーズに応えながら、収入の安定も図ります。
- 2 事業の継続・展開について
 - ・GH用の土地を取得し、県施設整備補助金を活用して新規GHの建設を予定しています。
 - ・自然災害や感染症に対応した事業継続計画の策定をします（R6年度義務化）。
 - ・県及び倉吉市の障害福祉計画を見据え、第3期中期計画（R7～R9年度）の策定を進めていきます。
- 3 福祉サービスの充実
 - ・第三者評価の受審（障害者支援施設 希望の家・若竹の家）
 - ・虐待防止措置の更なる向上、整備に取り組みます
- 4 職員の確保・定着・育成に向けて
 - ・計画的な採用を進め、多様な働き方への配慮にも努め、働きやすい職場を目指します。
 - ・国の処遇改善加算の一本化による見直しに対応し、賃金アップに取り組みます。
 - ・キャリア形成、各種研修受講、資格取得支援等を進めていきます。

IV 事業運営計画

1 各事業の取り組み

当法人の全事業で83名の利用があり、利用者の年齢層は20歳から95歳までと幅広く、4月1日現在で全体の平均年齢は60.3歳です。

(1) 障害者支援施設（施設入所支援他）

①希望の家

平均年齢（生活介護：60.0歳）

	定 員（現 員）
㊦ 施設入所支援	38名（現員 35名）
㊧ 日中活動	生活介護 40名（現員 35名：施設入所35名）
㊨ 短期入所	空床型
㊩ 日中一時支援	4名

日中活動（生活介護）では、主として昼間において、入浴、排せつ、食事の介護等を行うと共に創作活動や生産活動等の機会を提供します。施設入所では、主として夜間において、入浴、排せつ、食事等の介護、生活等に関する相談及び助言、その他の必要な日常生活上の支援を行います。

②若竹の家

平均年齢（生活介護：57.4歳 就労継続B型：59.3歳）

	定 員（現 員）
㊦ 施設入所支援	26名（現員 24名）
㊧ 日中活動	・生活介護 40名（現員 32名：若入所24名、希GH5名、他GH1名、在宅2名） ・就労継続B型 15名（現員 16名：希GH11名、希入所1名、在宅3名、他施設1名）
㊨ 短期入所	2名及び空床型

日中活動の生活介護では、入浴、排せつ、食事の介護等を行うと共に創作活動や生産活動等の機会を提供します。就労継続B型では、生産活動の場として働く喜びや就労の意欲が得られるよう各々の利用者に適した作業を提供します。在宅や他施設からの利用も受け入れています。施設入所の支援内容については、希望の家と同様です。

(3) 共同生活援助事業所

平均年齢（63.7歳）

グループホーム希望の家	定 員（現 員）
㊦GH（せきがね）	6名（現員 6名）
㊧GH（たきがわ）	6名（現員 6名）
㊨GH（みどり）	5名（現員 5名）
㊩短期入所（GHみどり）	1名

主として夜間において、共同生活を営む住居で相談、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の必要な日常生活上の援助を行います。地域の公民館行事等にも参加しながら、地域の一員としての生活の定着を図ります。

2 各利用率（稼働率）

サービス区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
	目 標	見込み	実 績
希望の家・施設入所	95%	90.6%	93.5%
生活介護	90%	84.2%	89.3%
短期入所（延利用者数）	2日（1人）	26日（1人）	2日（1人）
日中一時（延利用者数）	1日（1人）	2日	0日
若竹の家・施設入所	95%	88.7%	91.4%
生活介護	75%	72.5%	95.9%
就労継続B型	80%	75.2%	54.5%（つ）
短期入所（延利用者数）	90日（2人）	115日（3人）	85日（2人）
グループホーム	95%	98.4%	99.9%
短期入所（延利用者数）	10日（1人）	15日（1人）	0日

*（つ）はつつじ作業所の略

V 職員体制（予定含む）

令和6年度は、所長：稲垣、次長：池田・山田、主幹：池本・政門・相見・山田（兼務）の新体制でスタートする。

1 希望の家

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
所長（兼務）（サビ管）	1			1
次長（兼務）	1			1
主幹（サビ管）	1			1
事務職員（兼務）	3			3
栄養士（兼務）	1			1
調理員（兼務）	5			5
看護師（兼務）	3			3
生活支援員	15	3		18
嘱託医（兼務）			2	2
合 計	30	3	2	35

2 若竹の家

1

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
所長（兼務）	1			1
次長（兼務）	1			1
主幹（サビ管）	1			1
事務職員（兼務）	3			3
栄養士（兼務）	1			1
調理員（兼務）	5			5
看護師（兼務）	4			4
生活支援員（うち3名は兼務）	9	2		11
職業指導員	2			1
嘱託医（兼務）			2	2
合 計	27	2	2	31

3 GH希望の家

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
管理者（兼務）	1			1
次長（兼務）（サビ管）	1			1
主幹（サビ管）	1			1
事務職員（兼務）	1			1
生活支援員（兼務）	3			3
看護師（兼務）	2			2
生活支援員兼世話人		5		5
夜間世話人		4		4
合 計	9	11	0	20
職員実人数（嘱託医除く）	正職員・パート等職員			計56名

VI 年間行事等実施計画（別紙参）

令和6年度 年間行事等実施計画（案）

	行 事	理事会・職員研修等	防 災 訓 練 等	検 診・安全衛生	そ の 他
4 月	新年度編成 委員会（各事業所）	県知福協代議員会 / GH世話人連絡会 中国地区知的障害関係施設長会議（山口市）			
5 月	前期支援計画説明会	法人内部監査	総合防災訓練・GH避難訓練 消防設備点検		
6 月	デイキャンプ（若竹の家）	定時評議員会 理事会 食中毒防止研修会	非常連絡通報訓練	歯科検診	鳥取短大実習①
7 月	各事業所前期慰労会（7～8月） 県内親善球技大会（13日）	全国施設長会議（東京） 中四国知的障害関係職員研修会（米子市） キャリアアパス初任者研修 / てんかん基礎講座	避難訓練（夜間想定）		きぼう紙発行 後援会総会
8 月		安全運転管理者講習 / 倉吉市集会 キャリアアパス中堅職員研修	自主検査チェック		鳥取短大実習②
9 月	親睦旅行（9～11月） 職員会（各事業所）	強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修） 福祉サービスクワッド研修会		総合健診 前立腺がん検診	
1 0 月	後期支援計画説明会 きぼうまつり スポーツ祭り	強度行動障がい支援者養成研修（実践研修） キャリアアパスチームリーダー研修 全国知的障害福祉関係職員研究大会（福井県）	避難訓練 GH避難訓練（土砂）	肺炎球菌ワクチン予防接種 胃がん検診（胃カメラ）	明倫生活文化展
1 1 月		感染防止研修 / グループホーム世話人研修会 サービスマネジメント研修（基礎研修・実践研修） キャリアアパス管理職員研修	防災設備点検 避難訓練（地震）	内科検診（11～2月）	倉吉市解放文化祭
1 2 月	各事業所忘年会 餅つき	県知福協施設長会	非常連絡通報訓練	インフル予防接種	きぼう紙発行 中部あいサポートフェスタ
1 月	とんど	グループホーム世話人研修会		胃がん検診（X線） 大腸がん検診 婦人科検診、夜勤者健診	とんど
2 月	職員会（各事業所）		自主検査チェック		
3 月	各事業所年度末慰労会 法人役職員懇親会	理事会・評議員会 第三者委員との連絡会			きぼう紙発行